

露國 征伐 戰勝 笑話

○醜体の解剖 骨皮道人
 平生の滅法海強きや羽振きて名譽の軍艦もいざ腕發せんと忽ちグウの音も出きて滅死して仕舞たソコで其恥晒しの醜体を以後の見せめに必要があると云ふので早速其解剖を志す。た先づ頭からの獨天から打割始めて鉄面皮、嘘の皮、駢目の皮等をヒン剥き、其真蒼な面附を小氣味宜く取調べ、夫から高慢の鼻柱を折り、二枚の舌を抜き去り、向ふ見ずの眼を空虛の膽を、或は腋核強情の疝氣筋より青息を吹た咽喉、慾の深い長爪もももも出さず、毒氣力骨身は應へない内輪の乱脈、日本の勇氣を驚いて抜いた腰脊に腹を替へ活血を吸く解剖して行く。其核腹は大きな穴が明て、其度は何より真黒な漆で居るものがあるので、人へみふ不思議と思ひ、ハテは何だらうと種々に評議して居ると、傍に居る艦長が、夫の水雷を喰大口で、



豊田

